

城取うるし工芸さん

城取うるし工芸さんは、400年の歴史を持つ伝統木曾漆器の技を受け継ぐ工房です。
木曾塗りをはじめ、仏壇・仏具、寺院荘厳具、絵画・掛軸、銅器など、日本の文化を支える美術工芸品を手がけています。

「職人一族の矜持を忘れず、伝統を守り伝えること」を大切にし、
木曾の自然と歴史に育まれた技術を現代へ届け続けています。

本店店長の 城取悠（はるか）さん は、ならかわねこ会のメンバーであり、写真家としても活躍されています。

2026年には、地域おこし協力隊員・竹内桜咲子さんと制作した
木曾堆朱のピンバッジ が「信州ハンドクラフトフェスタ 2026」で 大賞 を受賞。
伝統技法と現代技術を融合した作品として高く評価されました。

【参考文献】

[中日新聞記事](#)

[信濃毎日新聞デジタル](#)

[市民タイムス Yahoo ニュース](#)



左 城取悠（はるか）さん 右 竹内桜咲子さん